

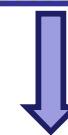
学習活動例(主体的な課題解決)
見通しと振り返りの例

理科における資質・能力の例

協働的な学びの例

課題把握(発見)

自然事象に対する気付き



課題の設定

仮説の設定

見通し

検証計画の立案

観察・実験の実施

結果の処理

考察・推論

振り返り

表現・伝達

- 主体的に対象とかかわろうとしたり、観察しようとする態度
- 対象を観察し、必要な情報を抽出・収集する力
- 抽出・収集した情報について、それらの関係性(共通点や相違点など)や傾向を見いだす力

- 見出した関係性や傾向から、課題を設定する力

意見交換・議論

意見交換・議論

課題探究

- 見通しを持ち、検証できる仮説を設定する力

意見交換・議論

- 仮説を確かめるための観察・実験の計画を立案する力
- 観察・実験の計画を評価・選択・決定する力

意見交換・議論

- 観察・実験を実行する力

調査

- 観察・実験の結果を処理する力

意見交換・議論

課題解決

- 観察・実験の結果を分析・解釈する力
- 情報収集して仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力
- 全体を振り返って推論したり、改善策を考えたりする力
- 新たな知識やモデル等を創造したり、次の課題を発見したりする力

意見交換・議論

- 考察・推論したことや結論を発表したり、レポートにまとめたりする力

研究発表
相互評価

次の課題解決のプロセス

* 1 課題解決の過程は、必ずしも一方向の流れではない。また、授業では、そのプロセスの一部のみを扱ってもよい。

* 2 全ての学習過程において、今までに身に付けた資質・能力や既習の知識・技能を活用する力が求められる。

* 3 意見交換や議論の際には、あらかじめ個人で考えることが重要である。また、他者とのかかわりの中で合意を形成したり、自分の考えを修正したりする力が求められる。

平成28年3月9日
理科ワーク・キンググループ
教科課程部会

資料4-4